

白杵

USUKI



発行元：白杵市

うすき 祈りの回廊

「人」と「人の祈り」を 大切にしてきた 「想い」に心を寄せる旅

白杵の地名の由来は
白塚古墳の被葬者の魂を守る目的で造られた
「白」と「杵」に見立てた石造物、石甲(せっこう)が
由来といわれています。

白塚古墳が造られたとされるのは5世紀ごろ。
まだ宗教や宗派といった概念がない時代に
白杵の「祈り」の歴史は始まりました。
だからでしょうか――。

神道や仏教、キリスト教など宗教宗派を超えた
祈りの地が白杵には点在。

古来より「人」「人の祈り」を大切にし、
先人たちの「想い」に心を寄せてきました。

今回そんな町を巡ったのは
20年以上連れ添ってきた、とある夫婦。
「うすき祈りの回廊」をたどり巡る白杵の地で、
二人はなにを想い、どんな祈りを捧げるでしょう。

国宝 白杵石仏 MAP.1

国宝にも指定されている観光名所であり、「うすき祈りの回廊」における祈りの場としても重要な役割を持っています。その理由は平安時代後期～鎌倉時代にかけて彫刻されたと伝わる歴史の長さや規模。先人たちがどんな想いでこの磨崖仏を信仰したのか思いを馳せながら見てみてください。その美しさから地域の人々に大切に守られてきたことがわかるはずです。

大分県白杵市深田804-1
tel.0972-65-3300(白杵石仏事務所)
拝観料高校生以上550円



宗教宗派を超えて「人」と「人の祈り」を大切に
してきた白杵の先人たちの「想い」に心を寄せ、祈
りの対象としてきた白杵市内の巡礼地を巡るス
タンプラリー。白杵市観光交流プラザで回廊ス
タンプ手帳を手に入れて巡りましょう。



現在の寺は1951(昭和26)年、日蓮宗の藤井日達聖人によって復興されたもの。もともとは天台宗だったというから宗派が変わったということ。ただ、地区の信仰の場としての役割は変わらない。

国宝 白杵石仏と石仏公園を挟んで向かい合う寺です。白杵磨崖仏造立と合わせて創建されましたが17世紀初めに一度は廃寺。寺にまつられていた薬師如来像は地区の人たちによって長年守られてきたといえます。国特別史跡の仁王像の鼻の部分がないのは、仁王像の鼻を削って飲むと疫病に効くといわれていたからだそうです。



はじまりは満月寺

/ MAP.2

[満月寺]
大分県白杵市深田963
tel:0972-65-3454



[白杵せんべい手塗り体験]

体験時間 11:00～、14:00～ / 所要時間 ～30分 / 料金 大人(中学生以上)1名880円・小学生 1名550円
※小学生未満はご相談ください。



サクッと体験

/ MAP.3

[後藤製菓]
大分県白杵市深田118
tel:0120-510-470

国宝 白杵石仏の目と鼻の先にある後藤製菓は今年で創業104年。職人が一枚一枚、生姜蜜を手塗りする伝統銘菓の白杵煎餅(せんべい)をはじめ、チョコレートでコーティングした冬季限定商品を出すなど、新たな挑戦にも積極的です。そんな老舗製菓の本店ならではの楽しみが工場見学(平日のみ)、白杵煎餅手塗り体験。没頭すること請け合いです。

人気No.1の魚介のパエリア(中3,500円、大7,000円)は単品のほか、お得なランチセット(スペインオムレツ、サラダ、スープ、コーヒー付き1人2,500円)でも提供。白杵の小エビを使った小エビのアヒージョ(880円)も香ばしく、必食の一品だ。ランチタイムもアラカルトやアルコールは注文OK。



城下町、商業都市として発展してきた白杵。白杵城跡周辺には立派な門構えの武家屋敷や白壁の土蔵など、古い町並みが残っています。そんな情緒溢れる町の一角、表の格子や瓦屋根が印象的な古民家に掲げられていたのは……スペインの国旗！ここは大分県内でも珍しいスペイン料理専門店です。

店主・石崎良太さんはふぐの老舗を料理人の入口に、リゾートホテルで洋食を経験。その後、スペインに渡航し、約4年現地で料理の腕を磨いた本場仕込み。普段と違う食事を楽しみたい時、食事を楽しんだあとのスイーツにと、地元の方々がさまざまなシーンで通う地域密着店です。

メニューはイワシのマリネ、スペインオムレツ、イベリコ豚のステーキなど多彩にそろい、中でも人気なのがパエリア。特に魚介系がおすすめです、その理由はなんと石崎さんは現役の魚屋だから。11月2月は近海で獲れたコウイカのイカスマパエリアをぜひ味わってみてください。



しっかりランチ / MAP.4

〔ラ・マンチャ〕
大分県白杵市白杵527-1
tel:0972-83-5322
定休日 / 水曜日、ほか不定休あり

白杵の郷土料理 / MAP.5

土産物が並ぶ石仏観光センターには食事どころ、郷土味が併設。特産の太刀魚を使った、たち重、とり天定食など大分らしいメニューに加え、品数豊富な季節のごはん(1,980円)もおすすめ。

石仏観光センター
大分県白杵市深田833-5
tel.0972-65-3333



(写真中)とり天定食(1,320円)/大分といえぱやっぱりとり天。サクッとジューシーなとり天に野菜たっぷりのだんご汁が付いて、ボリューム満点
(写真右)たち重(1,650円)/白杵の醤油で作る、秘伝のタレで香ばしく焼いた白杵産一本釣り太刀魚はフワッとした食感。こちらもだんご汁付き

1日目
13:00

うつくしき金継ぎ

/ MAP.6

【うすき皿山】
大分県臼杵市深田816-3
tel:0972-65-3113
定休日 / 月、火曜日

臼杵川が流れるのどかな田園地にたたずむうすき皿山は、今や全国区の知名度を誇る白杵焼を作る工房です。白杵焼とは今から200年以上前の江戸後期、白杵藩の御用窯として興り、一度は途絶えてしまった幻の焼き物。残されたわずかな資料をもとに復興し、額縁を思わせるデザイン性の高さなどで焼き物好きをとりこにしています。

うすき皿山ではそんな白杵焼を自らの手で作ることができ、体験コースを用意。選べる豆皿型打ち体験（1名3850円）、本格型打ち体験（1名5500円）、白杵焼金継ぎ体験（1名11000円）があり、全コース作った器は持ち帰るもしくは郵送してもらえます。今回体験したのは金継ぎ。白杵焼は白と黒が基本なので金色が映え、完成品は器に独特な文様が浮かび上がります。約2時間の体験は静かな工房で器の割れと向き合うのみ。日常の忙しさを忘れられるひと時になりそうです。



体験用の白杵焼の器から好きなものを1つ選び、金継ぎをする体験。直した器はその日に持ち帰ることができ、金継ぎキット付きなので、自宅で改めてチャレンジすることもできる。型打ち体験は焼成期間があるため制作した器は後日郵送。講師が丁寧に教えてくれるので初めてでも安心だ。

【金継ぎ体験】体験時間13:00～/所要時間約2時間/料金1名11,000円 ※詳細は右記QRコードよりご確認ください。



「うすき皿山」は体験スペースを兼ねた工房・アトリエ皿山、器の展示販売と喫茶がメインのギャラリー皿山、菓子工房・うさ味の縁側の3施設が入る。営むのは白杵焼を復興させた宇佐美裕之さん夫妻で、作り手の思いに身近に触れられるのが良い。喫茶室では中国茶と手作りスイーツのペアリングを楽しみたい。

1日目
15:00

くいと酒蔵

/ MAP.7

【小手川酒造】
大分県白杵市白杵538
tel:0972-62-3335
定休日 / 不定

白杵市は2021年11月、ユネスコ創造都市ネットワークの食文化分野への加盟が認められました。その大きな理由となったのが400年以上前に始まった味噌造りに端を発する発酵・醸造の歴史。味噌・醤油から酒に繋がりが、現在白杵には4つの酒造会社が存在します。その中でよりそのストーリーを色濃く感じさせるのがこちら。

創業1855年。昔ながらの杉樽による常圧蒸留を一貫するなど、伝統的な焼酎・酒造りを今なお続けている酒蔵で、実はフンドーキン醤油とも深い繋がりがあります。当時、酒造りの閑散期に醤油・味噌の製造を行い、それがフンドーキン醤油の前身となったそうです。酒と味噌・醤油と醸すものは違えど、醸造・発酵という土台があつてこそだということがわかります。

作家の故・野上弥生子氏の生家でもある小手川酒造。野上弥生子文学記念館も隣接しています。ぜひ併せて見学してみてください。



代表銘柄は大分むぎ焼酎「白寿」、大分県産の芋を黒麹で仕込んだ芋焼酎「白寿いも」、故・野上弥生子氏がその名を薦めたという日本酒「宗麟」、原料に清酒粕を使用した粕取り焼酎「王妃イザベル」。蔵の一部を見学できるほか、試飲して購入が可能。看板猫のフクちゃん目当てに訪れる猫好きもいるそうだ。



外観から印象的な千鳥破風の屋根、式台玄関、書院造りなど、江戸時代末期の上級武家屋敷の建築様式が見どころ。庭園から吹き抜ける風が心地よく、縁側に腰掛けて会話を楽しむ姿をよく見かける。
 [稲葉家下屋敷 / MAP.8] 大分県白杵市白杵6-6 / tel.0972-62-3399/入館料高校生以上330円



白鳳時代(7世紀後半～8世紀初頭)作の阿弥陀如来像が御本尊。光背や蓮華台は、その1000年後に造られたと伝わる。禁教の時代には当時の住職が村の潜伏キリシタンの窮地を救ったという逸話も。宗教宗派を超えた祈りの地としてぜひ訪れたい。[大橋寺 / MAP.9] 大分県白杵市福良平清水115 / tel.0972-62-5963

白杵城跡のお膝元に広がる町並みを見ながら散歩するのも白杵の楽しみの一つ。1600年、美濃国から入封した稲葉貞通から始まる稲葉家の時代に本格的な町並みが形成され、当時城下には8つの町が生まれました。その名残は現在、八町大路として親しまれる、白杵市中央通り商店街にも見取れます。

そんな城下町で訪れたいのが稲葉家下屋敷。旧白杵藩主・稲葉家が帰郷に際し滞在する屋敷として、1902年に町の有志によって建てられました。江戸時代末期の落ち着いた建築の上級武家屋敷、そして美しい庭園に癒やされると評判です。

稲葉家下屋敷からのんびり歩くこと約15分。白杵川のほとりに見える大きな屋根。「うすき祈りの回廊」の巡礼地の一つになっている大橋寺です。もともとは法雲山西方寺と号していましたが、参拝者のために架けられた大きな橋から、現在の寺号に改名。まさに昔から地元で親しまれてきた寺です。

1日
16:00

ぶらり散策

[稲葉家下屋敷周辺]
 大分県白杵市白杵ほか
 tel:0972-64-7130
 (白杵市観光協会)



1日
18:00

たらふくふぐ

/ MAP.10

〔料亭 山田屋〕
大分県白杵市白杵2-107-152
tel:0972-62-9145
定休日 / 火曜日

全国的に名を知られる料亭山田屋。創業は1905年。もともと結婚式など団体利用が多かったそうですが、時代の流れもあって、ふぐを柱とし、今に至ります。

いつもにこやかで穏やかな3代目女将の山田喜美代さんは「大変な時期もありましたが、3代目が店を潰したって言われるのは悔しいでしょ。白杵のふぐのおいしさを広めるためにできることを日々考えました」と振り返ります。

少しずつ白杵ふぐの山田屋として名を広め、1993年に大分市内の繁華街に、2006年に東京の西麻布と店舗を拡大。その味の良さは東京ですぐに評価され、その翌年某グルメガイドで二ツ星、以降9年連続三ツ星も獲得したほど。

本店以外、屋号に白杵ふぐと冠していることに女将さんは「大分でも豊後でもなく、白杵じゃないと意味がないと思うんですよ」とにっこり。裏側にあふれる意志、思いの強さを感じます。



ふぐコースは全6品(税サ込 14,520円)、全7品(税サ込 15,730円)、全8品(税サ込 19,360円)の3コースが基本。白杵では鮮度が良いふぐを厳選しているため極端な薄造りができず、少し厚めに引かれているのが特徴。プリプリとした弾力、噛むほどにふぐ本来の旨味、甘味が広がる。カボスを手搾りして作る特製ポン酢が評判だ。



昭和元年前現在の場所に移転。大広間と個室4室を備えており、廊下や個室の一部から見える庭園が見事だ。個室が埋まっているときは大広間を間仕切りして利用。現在、白杵本店に加え、大分都町店、東京の西麻布店、丸の内店の計4店舗あり。コスバと雰囲気の良いことから東京など遠方から本店を訪れる常連も多い。

「白杵料亭 御三家 ふぐフルコースお食事券」ふるさと納税返礼品



白杵料亭御三家
ふぐフルコースお食事券
2名様分
[寄付金額]113,000円



白杵料亭御三家
ふぐフルコースお食事券
3名様分
[寄付金額]170,000円

●右記の「白杵料亭 御三家」の中よりお選びいただけます。



ふぐ・日本料理 喜楽庵
天皇家はじめ多くの貴賓をもてなしてきた、白杵の迎賓館的存在。この土地で育まれてきた食材と職人の技による、四季を感じる旬の料理。長い歴史と、これから更に続く歴史の一コマを味わうことができます。



料亭 山田屋 白杵本店
100年を超える歴史を誇る老舗料亭。季節の移ろいを感じられる贅沢な和空間。味ひとつ、器ひとつ、しつらえひとつ、老舗のこだわりがすべてに余韻を残す。山田屋ならではの磨き抜かれた技と心でおもてなしします。



御宿料亭 春光園
かつての稲葉藩家老武家屋敷跡を活用した御宿料亭。江戸時代の料理本を基にふぐ料理を考案するなど、おいしさを知り尽くした自慢のふぐ料理。新鮮な魚介を使用した、自慢のコース料理をご堪能ください。



詳細はQRよりご確認ください。

1日目
20:00

きょうのお宿

/ MAP.11

[五嶋旅館]
大分県臼杵市臼杵140-9
tel:0972-63-1051
定休日 / 不定

「ここに旅館があるの？」とつい思ってしまふ普通の住宅街にたたずむ五嶋旅館。石塀の上まで茂った木々の奥にかすかに見える温かな灯りを頼りに門扉を開けます。穏やかな笑顔で出迎えてくれたのは店主の五嶋隆之さん。寡黙ですが丁寧で、ひと目で優しい人だと想像できる人柄の良さがにじみ出ています。聞けば五嶋さんの祖母が始めた宿で、70年ほどの歴史があるとのこと。もともとは造船所関係の利用が多かったのだそうです。

客室に通されるとさながら実家に帰省したときのようなノスタルジーを感じます。宿予約サイトの口コミでも「家庭的で落ち着いた雰囲気」と多く書かれていたのも納得。そして多くの宿泊客が最高だったと話すのが食事です。通常のプランでも地魚の刺身、塩焼き、きらすまめし、とり天など品数豊富で、しかも地元ならではの料理づくし。さらに贅沢したい場合は、ふぐ刺し付きプランもおすすめです。



五嶋旅館があるJR臼杵駅一帯はかつて宿が点在するなど賑わっていたエリアだが今は住宅街になっている。現在、五嶋さんと母親の2人で切り盛りしており、1泊2食付きで1名10,800円、朝食のみなら1名7,300円などリーズナブル。絵本やちょっとしたおもちゃが置かれたスペースもあり、子ども連れの利用も多い。

昭和の雰囲気漂う臼杵のお宿

喜安屋旅館
/ MAP.12

愛媛行きのフェリー乗り場、JR臼杵駅からも徒歩圏内。2食付きのほか8,000円〜とリーズナブルに宿泊できます。

大分県臼杵市港町東3組
tel.0972-63-6600



かど一旅館
/ MAP.13

戦国時代から街道筋として役割を果たした二王座に位置。昔ながらの民宿で、1泊2食付きのほか、素泊まりも可能です。

大分県臼杵市二王座172
tel.0972-63-1939





うすき祈りの回廊の聖地巡礼スポットになっており、スタンプも設置。地藏や供養塔が並ぶ
 一帯は地域の人たちが日々清掃している。マナーを守って巡礼しよう。

対岸にフェリーが停泊する白
 杵港、海沿いを散歩する地元の
 皆さんなど、のどかな風景が広が
 る諏訪地区。ここにある通称、地
 蔵公園は腰痛回復祈願の地藏、
 魚介の供養塔などさまざまな祈
 りを捧げる場となっています。
 東に向かって広がる海にはお
 にぎり形をしたかわいい津久見
 島がプカリ。早朝、日の出を狙っ
 て訪れるのもおすすめです。

2日目
 5:30

ゆるりと日の出

/ MAP.14

〔地藏公園〕
 大分県臼杵市諏訪
 tel:0972-64-7130
 (臼杵市観光協会)



2日目
 9:00

いこう興山寺

/ MAP.15

〔興山寺〕
 大分県臼杵市福良2366
 tel:0972-63-0361

もともとは高野山にて創建。
 明治期、青巖寺との併合によっ
 て興山寺の名が消えることを惜
 しんだ玄浄僧正が、白杵藩主・稲
 葉家の協力を得て白杵の地に移
 設しました。
 うっそうとした木々に囲まれ
 た山上に建立された寺で、境内
 は凜とした空気に包まれ、身が
 引き締まる思いに。高野山ゆか
 りの仏像や羅漢図はぜひ拝観し
 たいところ。

寺を管理するのは高野山真言宗傳燈大阿闍梨、岡部觀栄住職。高さ2m30cmの十一面観音像、
 ふすまに表装された高野山ゆかりの十六羅漢図など、価値ある寺宝がたくさん。

[ランチメニュー]

白杵御膳(1,500円)、白杵かぼすとり天定食(1,500円)、とらふぐ茶漬け御膳(2,500円) すべてご飯のおかわり無料、フリードリンク付き



大分県の地産品の開発と販売を手掛けるショップで、実店舗があるのは白杵だけ。店では物販も行っていますが、メインは食事です。カボスを衣に使ったかぼすとり天、さらすまめし、黄飯など、白杵ならではの料理が並ぶ白杵御膳、とらふぐ茶漬け御膳など、ご当地感のあるメニューが楽しめます。

2日 12:00
らんらんランチ
/ MAP.17
[豊后感動本舗]
大分県白杵市白杵200
tel:0972-83-8288
定休日 / 水曜日

[線香作り体験]

体験時間 9:00~18:00の間で応相談/所要時間 ~1時間/料金 1名2,500円
※体験は4名以上から受付。5月末~8月末は繁忙期のため体験不可



1872年に創業した仏壇店。5代目当主の平林真一さんは、唄う仏壇屋としてYouTubeチャンネルを開設したり、SNSを活用したり、新しいことに積極的な人。そんな平林さんが発案した線香作り体験が評判です。カボスの絞りかすを使ったUSUKI SENKOの香りにも癒やされます。

2日 11:00
ふわり線香
/ MAP.16
[山本鳳凰堂]
大分県白杵市白杵登屋町3
tel:0972-63-4187
定休日 / 第1水曜日



2日目
14:00

ふっと一息

/ MAP.18

[みのりの茶カフェ]
大分県白杵市野津町八里合1407
tel:0974-32-4219
定休日 / 月、火曜日

大分県で最初の有機JAS認証を取得し、体と環境に優しい有機栽培を一貫しています。

力強い茶の樹から収穫した葉を原料とする緑茶や紅茶は香り高く、甘味が強いと評判。5月にカフェがオープンし、丁寧に入れる玉緑茶やほうじ茶、挽きたて抹茶、ギャバロン茶などを楽しめるように。茶葉も購入できます。



一煎目は40℃、二煎目は55～60℃、三煎目は70～80℃の温度で提供している玉緑茶 吉四六の里(720円・左)、できたてほうじ茶(580円・右)。ドリンクは菓子付き

2日目
17:00

ひらり紅葉

/ MAP.20

[普現寺]
大分県白杵市野津町野津市1346
tel:0974-32-2220
(吉四六の里観光協会)

大友氏第2代当主親秀の五男、野津五郎頼宗が1294年に建立したと伝わる古刹です。大友氏と島津氏の戦乱により一度は衰廃しましたが、1647年に現在の地にて再興。山道に約200本のモミジやカエデが植えられ、紅葉・新緑の名所としても知られています。江戸末期に造られた普賢菩薩像も見応えがあります。



ルルドの丘はフランスにあるカトリックの巡礼地、ルルドの洞窟を、ほぼ忠実に再現しています。慈愛をたたえた聖母マリア像が見守るその場所は、障がいのある人のための施設の敷地内にありますが、だれでも拝観が可能。野津町はかつてキリスト教徒が多かった地。そんな歴史も知って訪れたいものです。

2日目
15:00

らららルルド

/ MAP.19

[ルルドの丘]
大分県白杵市野津町都原3590-1
tel:0974-32-7060



A



〔白杵の粕漬け〕

白杵市の「ほんまもん野菜」を地元の酒蔵久家本店の酒粕で漬けためぐみ工房の粕漬けは安心安全そして、絶品です。648円



〔BKHうすきの地酒〕

白杵の4つの酒蔵の麦焼酎を集めた“うすきの地酒”シリーズ。豊后感動本舗(BKH)のオリジナルセット。4本セット7,920円



〔白杵煎餅〕

村上煎餅本舗で一枚一枚手作りされた煎餅。生地のおいしさにこだわって手焼きされた、昔ながらの味わいです。10枚入り648円



〔有機ギャバ茶、有機わ紅茶〕

みのりの茶カフェを運営する高橋製茶謹製。ギャバ茶はアミノ酸の一種GABAを豊富に含みます。各50g 540円

B



〔やさしさ仕立てシリーズ〕

2023年春に新発売。マチ付きの袋にジップを付けて保管がしやすい商品。九州あわせみそ 378円、減塩あわせみそ 400円、だし入りみそ 410円



〔富士屋甚兵衛オリジナル商品〕

創業者・富士屋甚兵衛の「甚」の字を用いたロゴが目印。ドレッシングをはじめ、パン用の味噌などユニークな商品も。かぼすドレッシング 1,188円ほか

C



白杵をはじめ大分県内から商品を厳選し、販売。オリジナル商品の開発にも力を入れています。

〔豊后感動本舗 / MAP.17〕
大分県白杵市白杵200
tel:0972-83-8288 定休日/水曜日



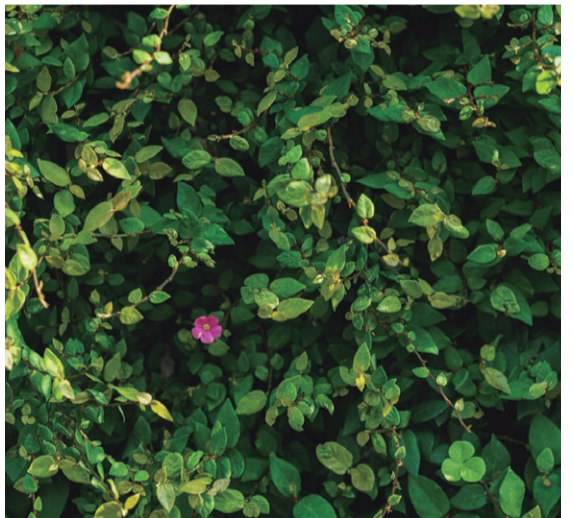
中心市街地活性化の拠点、交流・賑わい創出の場として親しまれています。うすきの地ものブランド商品を販売。

〔サーラ・デ・うすき / MAP.21〕
大分県白杵市白杵210-3
tel:0972-64-7271 定休日 / なし



フジジンのアンテナショップで、オリジナル商品も多く販売しています。味噌の量り売りなども。

〔富士屋甚兵衛 / MAP.22〕
大分県白杵市白杵本町4
tel:0972-64-0901 定休日 / なし



旅のおわりに

祈りが根付くこの町から、もっとすてきな日々を。

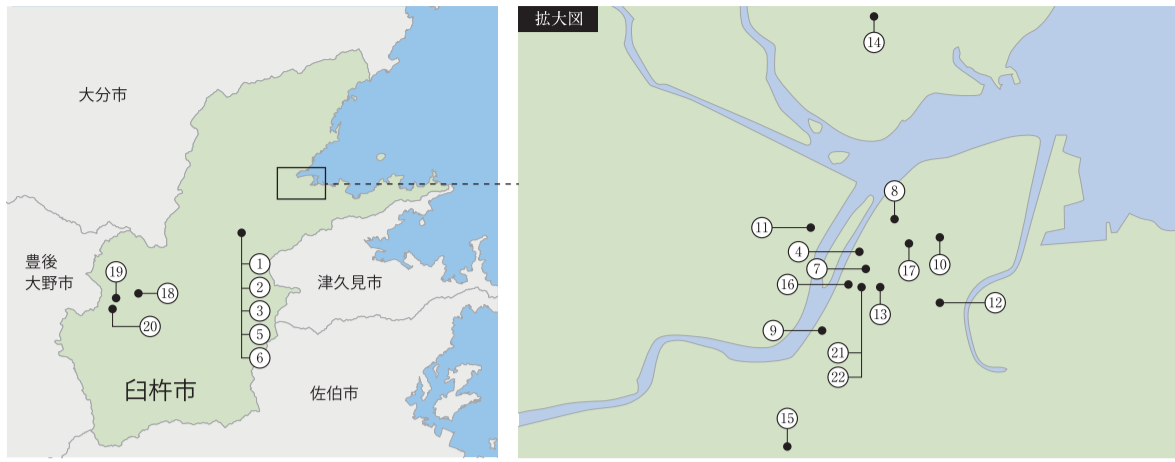
うすき祈りの回廊の巡礼地として紹介されていたのは33カ所。

どの場所にも物語があり、そこに暮らす人々の心の拠り所となっていると感じました。

そして宗教宗派に関係なく、流れているのは人を想う優しさや温かい心。

「人」「人の祈り」を大切にする臼杵から、今まで以上に素晴らしい日々が始まりそうです。

スポットMAP



- ① 国宝 白杵石仏
大分県白杵市深田804-1 tel:0972-65-3300
(白杵石仏事務所) 拝観料高校生以上550円

- ② 満月寺
大分県白杵市深田963
tel:0972-65-3454

- ③ 後藤製菓
大分県白杵市深田118
tel:0120-510-470

- ④ ラ・マンチャ
大分県白杵市白杵527-1 tel:0972-83-5322
定休日 / 水曜日、ほか不定休あり

- ⑤ 石仏観光センター
大分県白杵市深田833-5
tel:0972-65-3333

- ⑥ うすき皿山
大分県白杵市深田816-3 tel:0972-65-3113
定休日 / 月、火曜日

- ⑦ 小手川酒造
大分県白杵市白杵538 tel:0972-62-3335
定休日 / 不定

- ⑧ 稲葉家下屋敷
大分県白杵市白杵6-6 tel:0972-62-3399
入館料高校生以上330円

- ⑨ 大橋寺
大分県白杵市福良平清水115
tel:0972-62-5963

- ⑩ 料亭 山田屋
大分県白杵市白杵2-107-152
tel:0972-62-9145 定休日 / 火曜日

- ⑪ 五嶋旅館
大分県白杵市白杵140-9
tel:0972-63-1051 定休日 / 不定

- ⑫ 喜安屋旅館
大分県白杵市港町東3組
tel:0972-63-6600

- ⑬ かど一旅館
大分県白杵市二王座172
tel:0972-63-1939

- ⑭ 地藏公園
大分県白杵市諏訪
tel:0972-64-7130(白杵市観光協会)

- ⑮ 興山寺
大分県白杵市福良2366
tel:0972-63-0361

- ⑯ 山本鳳凰堂
大分県白杵市白杵壘屋町3
tel:0972-63-4187 定休日 / 第1水曜日

- ⑰ 豊后感動本舗
大分県白杵市白杵200
tel:0972-83-8288 定休日 / 水曜日

- ⑱ みのりの茶カフェ
大分県白杵市野津町八里合1407
tel:0974-32-4219 定休日 / 月、火曜日

- ⑲ ルドの丘
大分県白杵市野津町都原3590-1
tel:0974-32-7060

- ⑳ 普現寺
大分県白杵市野津町野津津1346
tel:0974-32-2220(吉四六の里観光協会)

- ㉑ サーラ・デ・うすき
大分県白杵市白杵210-3
tel:0972-64-7271 定休日 / なし

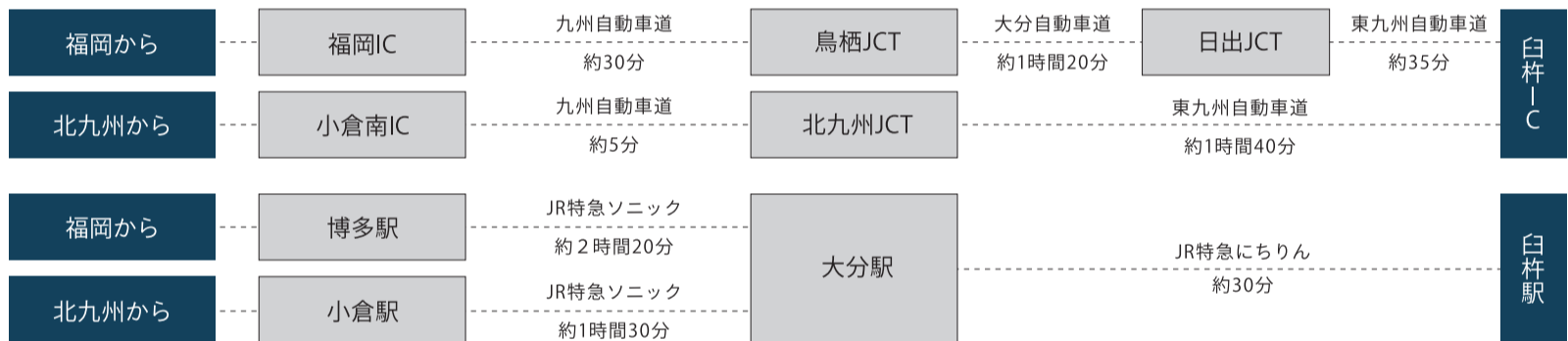
- ㉒ 富士屋甚兵衛
大分県白杵市白杵本町4
tel:0972-64-0901 定休日 / なし

その他の観光情報、スポットは
白杵市観光協会 公式HPを
ご覧ください。

<https://www.usuki-kanko.com/>



交通アクセス



うすき祈りの回廊

「白杵」の地名の由来は、古代に白塚古墳の被葬者の魂を守る目的で造られた「白」と「杵」の石甲といわれています。白杵石仏をはじめとして、幾多の「祈りの場」を設け、神仏へ深い祈りを捧げるようになった中世以降。大友宗麟によるキリスト教の布教と共に城下町の原型が形成され、白杵は全国有数のキリシタン王国へと変わっていきます。禁教の時代を迎え、白杵の町には寺が数多く建立され、数々の「祈りの物語」が生まれました。

白杵市観光交流プラザで公式ガイドブック(無料)と回廊スタンプ帳(無料)を受け取って、スタンプラリーの旅にお出かけください。



白杵八坂神社、二王座歴史の道を歩き、城下町から高野山を目指す道程は、寺宝鑑賞なども楽しめるご利益満載のコース。



白杵湾に浮かぶ津久見島を眺めながら海沿いを進みます。漁師が手を合わせた数々の供養塔、白杵という地名のルーツも。



中世には5000人以上のキリスト教徒がいたと伝わる野津町。キリシタン史跡と田園風景、山々の緑に心洗われます。



白杵城跡から始まり、寺社仏閣や名所を巡って、最後の回廊・深田の里へ。国宝 白杵石仏を含むコースとなっています。

INFORMATION

アンケート回答ご協力をお願い

白杵市の更なる魅力発信のため、また観光資源の磨き上げのため、皆さまの貴重なご意見を頂きますようお願いいたします。ご回答者の中から抽選でペア2組様に豪華プレゼントが当たります!

[回答期限] 令和6年1月15日

※ご記入いただいた個人情報は、プレゼント発送のために利用いたします。

アンケートの回答はこちら



山田屋の食事券ペア1組



五嶋旅館ペア1組

アンケートプレゼント

観光情報サイト

「テッパン! おおいた」

地元の人がオススメする「九州・大分」の魅力を発信! おすすめツアー情報や、さまざまな体験コンテンツを掲載しておりますので、ぜひご覧ください。
<https://teppan-oita.jp/area/area06/>



ユネスコ食文化創造都市 白杵

白杵市・西日本新聞社編 [発行元] 白杵市 [お問い合わせ] 白杵市観光協会 TEL.0972-64-7130

©2023 白杵市 本誌記事・写真・イラスト等の無断転載を禁じます。